

西東京市

第2次基本構想・基本計画

後期基本計画

みんなの輝きを次世代へ

～第2次総合計画・後期基本計画の策定にあたって～



西東京市長 丸山 浩一

西東京市では、平成25年度に10年間を計画期間とする第2次総合計画（基本構想・基本計画）、また、そのアクションプランとして平成27年度には、まち・ひと・しごと創生総合戦略を策定し、まちづくりを推進してまいりました。

これまでの5年間取り組んでまいりました、基本計画に位置づけた施策や事業について進ちょくを評価するとともに、この間の社会経済情勢の変化や、新たな市民ニーズを踏まえて、基本計画を見直したのが、この第2次総合計画・後期基本計画です。

後期基本計画の策定にあたりましては、人口推計、社会経済情勢などの基礎データ分析、市民意識調査、企業・関係団体ヒアリングなどのニーズ把握をもとに、総合計画策定審議会において議論・検討いただきました。くわえて、将来を担う若者の意見を取り入れるため、まちづくり若者サミットでも検討を重ねていただきました。

また、総合戦略を取り込み、総合戦略で基軸に掲げる「健康」応援都市の実現に向けた取組をさらに加速化させるため、「まち」の健康という視点から「健康都市プログラム」を設定し、WHO（世界保健機関）の示す健康指標をもとに、西東京市版の健康指標を設定いたしました。

さらに、地域の課題を地域で解決するための体制づくり、顔の見えるつながりの構築に向けて、新たに、行政サービスにおけるエリア（圏域）の再構築についても、今後、整理すべき重要な課題の一つに位置づけました。

将来においても、本市が「住み続けたいまち」そして「住みたいまち」として選択され続けるために、あらゆる施策に「健康」という視点を取り入れながら、より良いまちづくりに誠心誠意努力してまいりたいと考えております。

結びに、2年に渡り後期基本計画の策定にご尽力いただいた総合計画策定審議会委員並びにまちづくり若者サミットのメンバーの皆さま、ヒアリングなど策定過程で貴重な意見を賜りました市民や企業・関係団体の皆さまに、この場を借りて心より感謝申し上げます。

平成31(2019)年3月